再生　第3章

再生の前に 72
カメラで再生できるデータについて 72
テレビに接続する 72
ファイルの再生 74
静止画/文字/連写ファイルを再生する 74
音声ファイルを再生する 75
動画ファイルを再生する 76
いろいろな再生機能 77
画面を分割表示する（分割再生） 77
拡大して表示する（ズーム再生） 78
自動で再生する（オート再生） 79
回転して表示する 79
ファイルをコピーする 80
他社カメラで撮影したファイルを
再生する 81
プロテクトを設定する 82
プリントサービスの設定をする 83

再生の前に

カメラで再生できるデータやテレビを利用した再生方法について説明します。

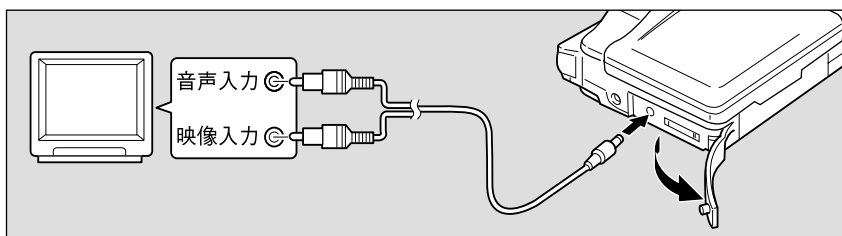
カメラで再生できるデータについて

カメラで再生できるファイルは、次のデータです。
・本機で記録したデータ
・パソコンから、本機対応のリコー製ソフトウェアで転送したデータ
・他社カメラで撮影したデータ→P.81「他社カメラで撮影したファイルを再生する」

・再生できないデータは、「UNMATCHED FILE」とメッセージが表示されます。
・デジタルカメラDC-3Z/DC-4シリーズ・RDC-5000シリーズ（リコー製）*で記録したデータも表示できます。
＊ズーム再生はできません。

テレビに接続する

同梱のAV接続ケーブルをカメラとテレビに接続すると、記録したファイルをテレビで再生することができます。

・接続する機器の取扱説明書も併せてご覧ください。

❶ カメラ本体とテレビの電源が切れていることを確認します。

❷ カメラの端子カバーを開き、AV出力端子にAV接続ケーブルを接続します。

❸ AV接続ケーブルのもう一方を、テレビの映像入力端子と音声入力端子にしっかりと接続します。

長時間お使いになるときは

ACアダプター（別売り）を使って、家庭用コンセントから電源をとることをお勧めします。→P.24「コンセントで使う」
＊ACアダプターは、必ずカメラの電源が切れている状態で接続してください。

補足

・海外旅行などでPAL方式のテレビで再生することもできます。→P.99「ビデオ方式を変更する」
・テレビに接続すると、カメラの液晶モニター表示の状態で、そのままテレビモニターに映ります。

ファイルの再生

撮影したファイルの再生方法について説明します。

静止画 / 文字 / 連写ファイルを再生する

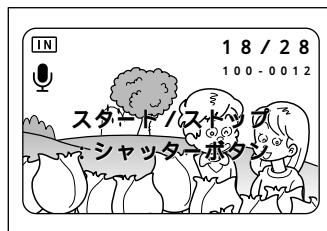
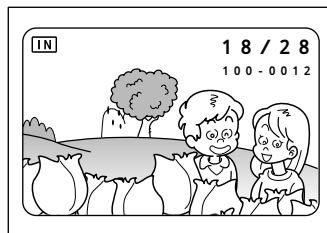
（静止画）、（文字）、（連写）で記録したファイルや、音声付きの静止画や文字を再生します。

❶ モードダイヤルを［▶］に合わせ、CARD/IN ボタンで再生元を選びます。

最後に記録したファイルが再生されます。

参照 ・P.7「情報表示について」

❷ ▲ボタン・▼ボタンを押して、再生するファイルを選びます。

▲ボタンを押すと次のファイルが表示され、▼ボタンを押すと前のファイルに戻ります。
ボタンを押し続けると早く進みます。

●音声付き静止画 / 文字のとき

音声を再生するときは、シャッターボタンを押します。
自動で音声ファイルの再生は終了します。また、シャッターボタンまたは▼ボタンを押すと再生を中止できます。

補足 ・◀ボタン・▶ボタンを押すと音量の調節ができます。→P.75「音声ファイルを再生する」

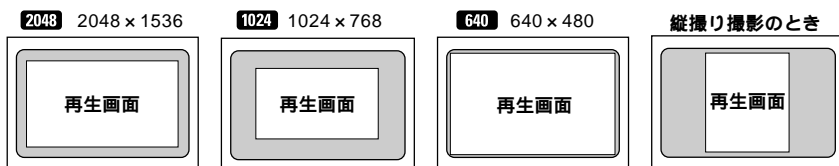
●再生画面について

次の画像サイズで撮影すると、液晶モニターやテレビモニターでの再生画面は以下のようになります。

2048 2048×1536

1024 1024×768

640 640×480

縦撮り撮影のとき

補足
・スマートメディアの容量によっては、電源の投入やモードダイヤルを変更してから、ファイルを再生するまでに時間がかかることがあります。
・（連写）で撮影したファイルも、それぞれ1ファイルとして記録されるため、通常のファイルと同じように再生できます。
・ファイルを消去できないようプロテクトを設定できます。→P.82「プロテクトを設定する」

音声ファイルを再生する

（音声）で記録したファイルを再生します。

重要
・スピーカーはカメラの側面にあります。カメラの向きを調整して再生してください。

❶ **モードダイヤルを[▶]に合わせ、CARD/IN ボタンで再生元を選びます。**

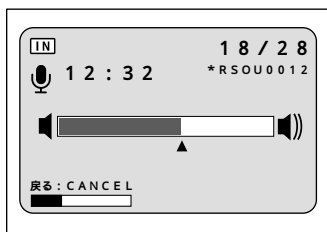
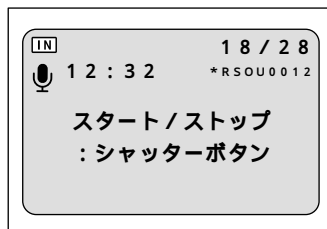
❷ **▲ボタン・▼ボタンで音声ファイルを選び、シャッターボタンを押します。**

音声が再生され、再生中を表すインジケータや経過時間が表示されます。
自動で音声ファイルの再生は終了します。また、▼ボタンを押すと再生を中止できます。

●再生を中断するとき

再生中、シャッターボタンを押すと再生が中断され、再度押すと再開されます。
中断中は、ズームレバーを押し続けると早送り（[♠]側）や巻き戻し（[♠]側）ができます。

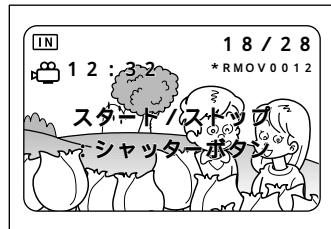
●音量を調節するとき

再生中、◀ボタン・▶ボタンを押すと音量調節インジケータが表示されます。◀ボタン・▶ボタンを押して、音量を調節します。

補足
・テレビなどに接続した場合、接続した機器で音量調節を行ってください。
・録音/録音可能時間が100分を越える場合、液晶モニターや液晶パネルには秒の1桁目は表示されません。
・ファイルを消去できないようプロテクトを設定できます。→P.82「プロテクトを設定する」

動画ファイルを再生する

（動画）で記録したファイルを再生します。

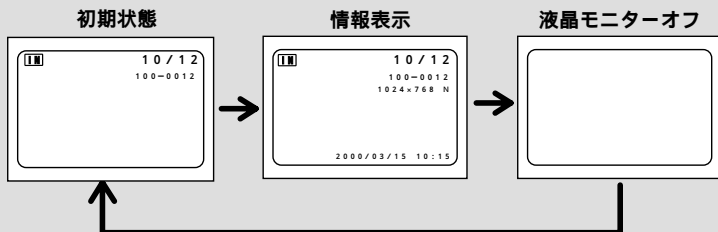
❶ **モードダイヤルを［ ▶ ］に合わせ、CARD/IN ボタンで再生元を選びます。**

❷ **▲ボタン・▼ボタンで動画ファイルを選び、シャッターボタンを押します。**
動画が再生され、再生中を表すインジケータや経過時間が表示されます。
自動で動画ファイルの再生は終了します。また、▼ボタンを押すと再生を中止できます。

●再生を中断、再開するとき
再生中、シャッターボタンを押すと再生が一時中断され、再度押すと再開されます。

●コマ送り / 戻し、スロー再生 / 逆スロー再生する
再生の中断中、ズームレバーを［ ］側に押すと１コマ進み、［ ］側に押すと１コマ戻ります。また、ズームレバーを［ ］側に押し続けるとスロー再生、［ ］側に押し続けると逆スロー再生ができます。

・◀ボタン・▶ボタンを押すと音量の調節ができます。→P.75「音声ファイルを再生する」
・ファイルを消去できないようプロテクトを設定できます。→P.82「プロテクトを設定する」

コラム

画面表示機能について
DISPLAY ボタンを押すたびに、記録した日付や時刻、画質モードなどの情報表示を切り替えることができます。
●静止画/文字/連写ファイルのとき

＊音声ファイルや動画ファイルの場合、初期状態や情報表示時に 、 、経過時間、インジケータが表示されます。

いろいろな再生機能

ここでは、いろいろな再生機能について説明します。

画面を分割表示する（分割再生）

画面を6分割にし、複数のファイルを一度に表示します。見たいファイルをすばやく検索できます。

❶ **モードダイヤルを［▶］に合わせ、MENUボタンを押します。**

❷ **Ⓐボタン・Ⓥボタンを押して［分割再生］を選び、ENTERボタンを押します。**
6画面表示に変わります。

❸ **Ⓐボタン・Ⓥボタン・◀ボタン・▶ボタンを押して、再生するファイルを選びます。**
コマ番号の表示位置を固定に、6ファイルずつ表示されます。
太枠で囲まれているファイルは、選択ファイルを表します。

❹ **ENTERボタンを押します。**
通常の画面表示に戻り、選択ファイルが１画面表示されます。

補足
・再生できないファイルは黒色の画面表示になります。水色の画面表示のときは、下表のファイルを表します。

音声ファイル	水色の画面に🎤を表示
文字ファイル	水色の画面に📄を表示
音声付き文字ファイル	水色の画面に📄を表示

・選択ファイルが上段のとき、Ⓐボタンを押すと前の6ファイル、下段のときⓋボタンを押すと次の6ファイルを表示します。

3
再生

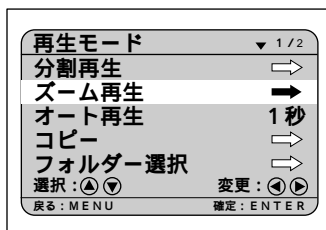
拡大して表示する（ズーム再生）

再生しているファイルを縦横に拡大して表示します。画像サイズによって、次の倍率で表示できます。

- **2048 × 1536**　：1.3 倍、1.6 倍、3.2 倍
- **1024 × 768**　：1.6 倍
- **640 × 480**　：2 倍
- **3072 × 2304**　：2.4 倍

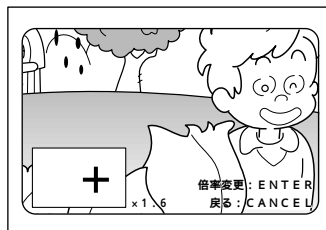
❶ モードダイヤルを［▶］に合わせ、MENU ボタンを押します。

❷ ▲ボタン・▼ボタンを押して［ズーム再生］を選び、ENTER ボタンを押します。

拡大表示に変わります。

❸ ▲ボタン・▼ボタン・◀ボタン・▶ボタンを押してファイルを確認します。

画面を見ながら、ボタンを押して表示位置を移動します。

●倍率を変えるとき

画像サイズが 2048 × 1536 のときは、ENTER ボタンを押すごとに倍率を変更できます。

❹ ファイルの確認後、CANCELボタンを押します。

再生メニューに戻ります。

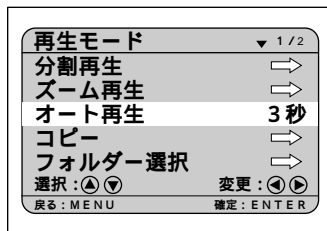
補足
- ズーム再生できるファイルは、本機で撮影した静止画ファイル、文字ファイル、音声付き静止画 / 文字ファイルです。
- 他の再生できるファイルの倍率表示は目安です。
- 縦に撮影した画像は、ズーム再生すると横に再生されます。

自動で再生する（オート再生）

内蔵メモリーまたはスマートメディア内のすべてのファイルを、自動再生します。

❶ **モードダイヤルを[▶]に合わせ、MENUボタンを押します。**

❷ **Ⓐボタン・Ⓥボタンを押して［オート再生］を選びます。**

❸ **◀ボタン・▶ボタンを押して再生時間（1秒・3秒・5秒・10秒・30秒・60秒）を選び、ENTERボタンを押します。**
ENTERボタンを押すと、指定した時間でオート再生が開始されます。中止するまでは再生を続けます。

●オート再生を中止するとき
オート再生中、シャッターボタンやズームレバーなど、いずれかのボタンを押すとオート再生を中止します。

補足
・再生時間には、ファイルを呼び出している時間は含まれません。
・音声付き静止画/文字ファイル、動画ファイル、音声ファイルは、設定した再生時間にかかわらず、記録した録音時間や 録画時間で再生されます。

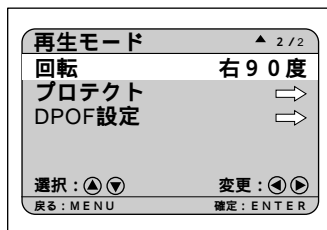
3
再生

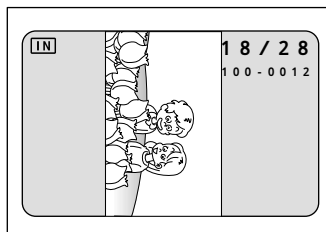
回転して表示する

記録したファイルを右90度、左90度、180度回転して表示します。

❶ **モードダイヤルを[▶]に合わせ、MENUボタンを押します。**

❷ **Ⓐボタン・Ⓥボタンを押して［回転］を選びます。**

❸ **◀ボタン・▶ボタンを押して角度（右90度・左90度・180度）を選び、ENTERボタンを押します。**

ENTERボタンを押すと、指定した角度で表示されます。

右90度に回転したとき

・回転できるファイルは、本機で撮影した静止画ファイル、文字ファイル、音声付き静止画/文字ファイルなどの本機で再生できるファイルです。
・電源をオフにしても設定した角度は記憶されています。次回電源をオンにすると設定した角度で再生されます。

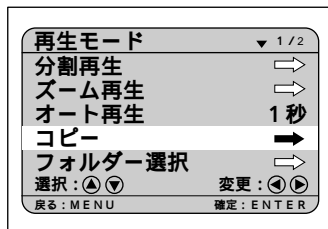
ファイルをコピーする

内蔵メモリー内のファイルをスマートメディアへ、またはスマートメディア内のファイルを内蔵メモリーへコピーします。

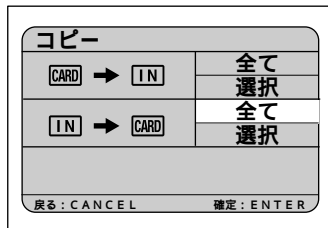
重要

・プロテクトを設定したファイルをコピーしても、コピー先のファイルにはプロテクトは設定されていません。
・コピーできるファイルは、本機で撮影したファイルです。
・コピー中、コピー先の容量が不足しているときはメッセージが表示されます。シャッターボタンを押すと残容量分のファイルがコピーされ、CANCELボタンを押すと操作を取り消します。

❶ モードダイヤルを[▶]に合わせ、MENUボタンを押します。

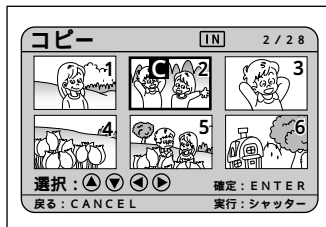
❷ Ⓐボタン・Ⓥボタンを押して［コピー］を選び、ENTERボタンを押します。

❸ Ⓐボタン・Ⓥボタンを押してコピー方法を選び、ENTERボタンを押します。

コピー方法によって操作が異なります。

・全てのファイルをコピーする→ P.81
・ファイルを選択してコピーする→ P.81

■全てのファイルをコピーする

❶ **シャッターボタンを押します。**
すべてのファイルがコピーされ、コピー画面に戻ります。

■ファイルを選択してコピーする

❶ **Ⓐボタン・Ⓥボタン・◀ボタン・▶ボタンを押してコピーするファイルを選び、ENTERボタンを押します。**
選択したファイルにCマークが表示されます。手順❶を繰り返すと、複数ファイルを選択できます。

補足 ・選択の取り消しは、もう一度ENTERボタンを押してCマークを消します。

❷ **シャッターボタンを押します。**
選択したファイルがコピーされ、コピー画面に戻ります。

他社カメラで撮影したファイルを再生する

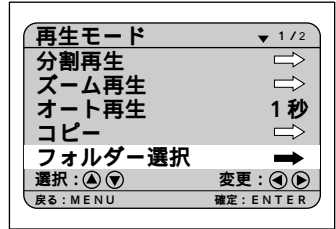
他社カメラで撮影したファイルを再生します。他社カメラのファイルフォーマットがDCF*に対応したファイルの場合、一部を除き再生できます。

＊DCFは、（社）日本電子工業振興協会（JEIDA）で標準化された「Design rule for Camera File system」の略称です。

❶ **スマートメディアをセットし、モードダイヤルを［▶］に合わせてMENUボタンを押します。**

参照 ・P.26「スマートメディアをセットする」

3
再生

❷ ▲ボタン・▼ボタンを押して[フォルダー選択]を選び、ENTERボタンを押します。

❸ ▲ボタン・▼ボタンを押してフォルダーを選び、ENTERボタンを押します。

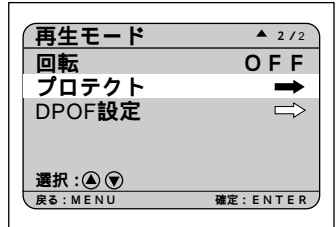
フォルダー内のファイルが表示されます。▲ボタン・▼ボタンでファイルを再生します。

参照 ・P.74「ファイルの再生」

プロテクトを設定する

大切なファイルを誤って消去してしまわないよう、プロテクト（誤消去防止）を設定できます。

❶ モードダイヤルを[▶]に合わせ、MENUボタンを押します。

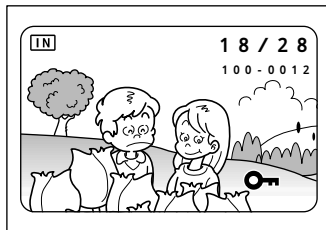
❷ ▲ボタン・▼ボタンを押して［プロテクト］を選び、ENTERボタンを押します。

❸ ▲ボタン・▼ボタン・◀ボタン・▶ボタンを押してプロテクトするファイルを選び、ENTERボタンを押します。

選択したファイルに🔑マークが表示されます。手順❸を繰り返すと、続けてプロテクトの設定ができます。

補足 ・選択の取り消しは、もう一度ENTERボタンを押して🔑マークを消します。

❹ シャッターボタンを押します。

プロテクトが設定されます。

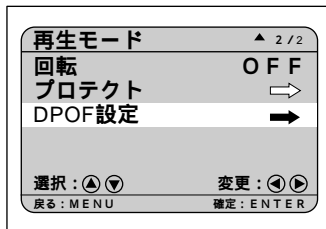
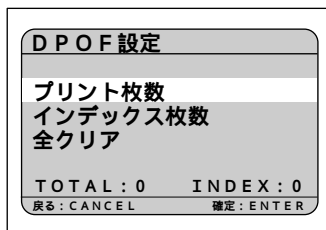
●プロテクトを解除するとき
プロテクトメニュー（手順❸）で、プロテクトが設定されたファイルを選び、ENTERボタンを押してマークを消します。

重要
・スマートメディアまたは内蔵メモリーをフォーマットすると、プロテクトされているファイルも消去されます。

プリントサービスの設定をする

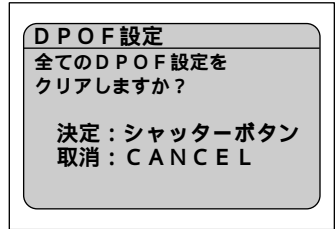
スマートメディア内のファイルをデジタルプリントサービスでプリントする際、プリント枚数やインデックス枚数の設定を行います。
設定後、デジタルカメラプリントサービス取り扱い店にお持ちいただくと、指定した情報通りのプリントサービスが受けられます。

補足
・プリントサービスの設定は、RICOH フォルダー内のファイルのみ設定できます。
・プリントサービスの設定を行うには、スマートメディアにファイル１～２枚分の空き容量を残してください。
・プリントサービス設定後は、記録や消去などの設定を一切行わないでください。行った場合は再度設定し直してください。

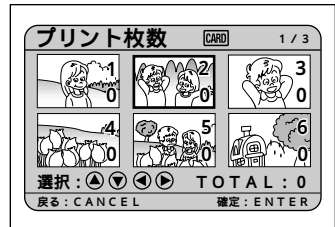
❶ モードダイヤルを［▶］に合わせて CARD/IN ボタンで CARD を選び、MENUボタンを押します。

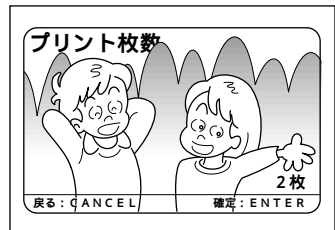
❷ ▲ボタン・▼ボタンを押して［DPOF設定］を選び、ENTERボタンを押します。

❸ ▲ボタン・▼ボタンを押して設定する項目を選び、ENTERボタンを押します。
設定する項目によって操作が異なります。
- **プリント枚数を設定する→ P.84**
- **インデックス枚数を設定する→ P.85**
- **DPOF 設定を解除する→ P.85**

3
再生

●すでに DPOF 設定を行っているとき
すでにDPOF設定を行っている場合は、右の画面が表示されます。シャッターボタンを押ししてしてください。DPOF 設定をクリアしないと、プリントサービスの設定は行えません。

DPOF設定
全てのDPOF設定を
クリアしますか？
決定：シャッターボタン
取消：CANCEL

■プリント枚数を設定する

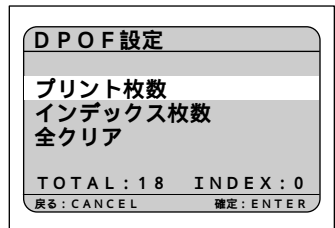
❶ **DPOF設定メニューで［プリント枚数］を選び、ENTER ボタンを押します。**

❷ **▲ボタン・▼ボタン・◀ボタン・▶ボタンを押して枚数を設定するファイルを選び、ENTER ボタンを押します。**
選択したファイルが１画面で表示されます。

❸ **▲ボタン・▼ボタンを押してプリント枚数を指定し、ENTER ボタンを押します。**

補足 ・設定を取り消すときは、プリント枚数を０にします。

プリント枚数が設定され、６画面表示に戻ります。手順❷・❸を繰り返すと、続けてプリント枚数を設定できます。

❹ **CANCEL ボタンを押します。**
DPOF 設定メニューに戻ります。

❺ **CANCEL ボタンを押します。**
再生メニューに戻ります。

・右の DPOF 設定メニューでモードダイヤルを回すと、設定された内容がクリアされます。必ずCANCEL ボタンを押して再生メニューまで戻してください。

■インデックス枚数を設定する

RICOHフォルダー内のすべてのファイルを縮小してプリントできます。インデックスプリントといい、フォルダー内のファイルを一覧で確認したり、プリント枚数を指定するときの目次として利用できます。

❶ DPOF設定メニューで［インデックス枚数］を選び、ENTERボタンを押します。

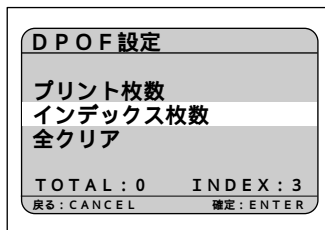
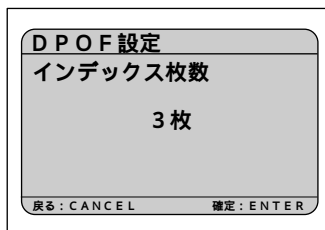
❷ ▲ボタン・▼ボタンを押してインデックス枚数を指定し、ENTERボタンを押します。

DPOF設定メニューに戻ります。

補足 ・設定を取り消すときは、インデックス枚数を0にします。

❸ CANCELボタンを押します。

再生メニューに戻ります。

・右のDPOF設定メニューでモードダイヤルを回すと、設定された内容がクリアされます。必ずCANCELボタンを押して再生メニューまで戻してください。

■ DPOF設定を解除する

❶ DPOF設定メニューで［全クリア］を選び、ENTERボタンを押します。

❷ シャッターボタンを押します。

すべての設定内容がクリアされ、再生メニューに戻ります。

DPOF設定
全てのDPOF設定を
クリアしますか？
決定：シャッターボタン
取消：CANCEL